

老舗 設備投資できず廃業

クレジット決済で現金不足

予告なく突然閉店

小売店悲鳴

消費税増税 清水さんが調査

清水忠史衆院議員と国会、近畿ブロック両事務所は10月21、22の両日、大阪府などで消費税10%増税による影響調査を実施。廃業・閉店に追い込まれるなど、悲鳴と激しい怒りの声が相次ぎました。

●創業95年「政府の施策で廃業」と涙

大阪府八尾市の創業95年の酒・食品店。御用聞きと配達を続けてきた。納税協会の会長なども歴任。得意先からは創業100周年まであと少しだから頑張っただけの思いも出ていたが、消費税増税に伴うレジやレジと連動した顧客データを扱うコンピューターの更新などにばく大な費用がかかるため、惜しまれながら廃業。

昨年夏、長年とっていた「聖教新聞」をやめた。軽減税率に対する不満を述べたので、後日、国会議員などが訪ねてきた。「えらいことやってくれた」と言うと、議員は自分が主導したと自慢し、「補助金が出ます」と言い訳に終始。

店主は「軽減税率。大義名分を言っていたが、中小業者がどんな目に遭うか分っていない。店を閉めるのは断腸の思い」「政府の施策によって無理矢理、多額の設備投資が必要になり、それが面でできずに廃業。まだ続けられたし、続けたかった」と涙を浮かべながら語った。



●和泉市「イケチュー」前日に廃業の電話

大阪府和泉市のスーパー「イケチュー」北信太店が突然閉店。「10/17 奈良県産靴下製造直売」の予告ポスターもあったので、経営者側も続けたいと粘っていたのかも(写真)。地元の党後援会、支部の人から話を聞くと…

「9月29日まで普通に営業していた。棚に商品も。明日閉まりますの予告もなし。30日に買い物に行ったら、『閉店』の張り紙。スーパーでパートしてた人に聞いたら、29日の晩に電話があり、明日から廃業する。ロッカーの私物を取りにくるように

と指示があったらしい」。

信太小学校区ではスーパーがなくなった。「若い世代、車で大型店などに行ける人はいいが、地域で徒歩や自転車で買い物していた人、高齢者ほど、影響をこうむる。手押し車で買い物に来ていたおばあちゃんとかどうしてるんやろ」。

●大阪市内の食品会社「クレジットと現金の割合が変わっただけ。手数料痛い」

以下、食品会社からの聞き取り。「売上げのおよそ20%がクレジット決済だったが、ポイント還元でクレジット決済のお客さんが増え、30%になる見込み。金額にすると数千万円。これが今月分も11月分として遅れて入金される。その分手元の現金収入が減り支払いなどが大変に。

年末にはお客さんの購入量も増え、だいたい普段の1.5倍の売上げになる。クレジット払いにする人が増えるのが常だが、今回はそれがもっと増えるだろう。12/31~1/3日までは金融機関も休みのため、到底耐えきれなくなる。政府の政策でこういう方向になっているわけで、新たな追加融資を出来るようになるなどの対策をうってほしい」。

「クレジット決済はありがたくない。世の中の景気が良くなったり、売上げが増えていくわけでない。ただクレジット決済と現金払いの人の割合が変わっただけ。事業者側にすれば、手数料が取られる分が増えた分収入が減る。増税による経費は増える(家賃、水道光熱費、通信費など)。最賃も少し上がり、人件費も増えた。その中で手数料で持って行かれる分は痛い」。

クレジットの手数を引き下げてくれるなども、下手な対策よりその方がよっぽどありがたい」。

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 28(2019.10.26)